



いづみ ゆみ 議員
泉 愉美

パパと一緒に思いっきり
外で子どもと遊びましょう!

父親の育児参加

問 共働き世帯が増加し、子育てしながら働きやすい環境の整備や支援が求められている。

父親の育児参加に向けた取り組みの考えは。

答 子育て支援センターでのファミリーデーや、出産を控えた夫婦を対象とした両親教室などを開催している。これらの事業を継続し、父親の育児参加の環境づくりに努めていく。

問 男性役場職員はこれまでどの程度、育休を取れているか。

答 制度ができてから、育児休業を取得した者はまだ少ない。

問 新設の男性版育休の取得率目標は2025年までに30%。父親も育児をするものであるという意識の切り替えが必要では。

継続し、ニーズを把握しながら進める。
問 小学生はスキーや自転車、中学生は学生服や柔道着などが求められている。リユース広場を開催したり、ごみの削減を目的に資源を有効活用している町もあるが、どのように考えるか。

子育て用品の再利用

問 子育てにはお金がかなり、短期間しか使わない物も多く、再利用品の活用を求める声が聞かれるが、町の事業としてできないか。

答 フリーマーケットのようなコミュニケーション活動に広げたい考えもあり、内部で検討したいと考えていた。

答 子育て支援センターの会場提供や協力を継続して取り組む。

問 品物の置き場所や管理・清掃は誰が担当のかなど課題もあるが、子育て世代の需要は多い。



チャイルドシート



抱っこひも



パウンサー

再用品が求められる子育てグッズ

いと感じている。
訓子府スタイルを検討してほしい。
答 すぐできるかという問題もあるので、今後の検討課題とする。

子どもの遊び場

問 町にお出かけスポットがなく、週末は近隣市町村へ遊びに行く家庭が多い。道立公園のような大型遊具や室内遊戯施設が求められているが、遊び場充実を求める声にどう応えていくか。

答 ニーズは捉えているが広域的な観点も含めて考えなければならぬ。

今は、町の自然豊かな公園や公共施設を有効活用してもらいたい。
問 町が単独で造ると莫大な費用になるが、1市4町の定住自立圏で協議し、北海道へ要請できないか。

答 広域であれば検討の



道立オホーツク公園(網走市)

余地はあり、提案は受け止める。

問 今後の子育て環境づくりの総体的な考えは。
答 遊びの文化をどう作っていくか、これからの課題である。

こちらから泉議員の一般質問を視聴できます

